



お茶の水女子大学 (東京都)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

小規模大学の特性を生かし、きめ細かな学習指導や支援が充実。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

お茶の水女子大学は、1875年、国によって設立された日本最初の女性のための高等教育機関「東京女子師範学校」を前身としています。

すべての女性とその年齢・国籍等にかかわらず、個々人の尊厳と権利を保障され、自由に己の資質能力を開発し、知的欲求の促すままに自己自身の学びを進化させることを支援することを使命としています。

日本における女性教育の先達であるお茶の水女子大学は、国際状況の中で、政治、経済、学術、文化をはじめ各界のオピニオンリーダーとなりうる女性を育成するプログラムを世界に示しています。

本学では、小規模大学の特性を生かし、教員一人あたりの学生数が少ない環境で、きめ細かな学習指導や支援を受けることができます。

2) 学生数等 (2017年5月1日現在)

学 部：文教育学部、理学部、生活科学部

大学院：人間文化創成科学研究科

教員数：269名

学生数：学部生 2,075名 (63名)

大学院生 890名 (148名)

(注) カッコ内は留学生数

② 国際交流の実績 (2017年5月1日現在)

23か国から211名の学部生、大学院生、研究生等が在籍し、勉学に励んでいます。

大学間交流協定校数：71校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2017年：留学生数211人、日研生8人

2016年：留学生数220人、日研生4人

2015年：留学生数217人、日研生7人

(注) 過去3年間、5月1日現在

日研生は当該年度10月受入数

④ 地域の特徴

文京区は、東京23区のほぼ中央に位置し、史跡や名所の多い歴史的な町であり、伝統的な大学や多くの学校のある町として知られています。

一方、みどり豊かで落ちついた住環境は、都市でも屈指のものとされています。



大学本館

■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

② コースの特色

母国で基本的な日本語能力を習得した学生を対象とし、将来大学院で学ぶことも視野に入れて、アカデミックな日本語力の強化を行います。日研生のみを対象としたオリエンテーション、週1回の特別クラス、及び指導教員による定期的な面談など、きめ細かい指導が特色です。

③ 受入定員

12名 (大使館推薦6名、大学推薦6名)

④ 受講希望者の資格・条件等

成績優秀で、原則として日本語能力試験N2以上を保持している者。

⑤ 達成目標

1) 修了レポート完成

週1回の特別クラスで、1年かけて自身が興味を持つテーマについて学び、修了レポートを作成します。アカデミックな日本語力を伸ばしながら、専門知識、論文の書き方などを学びます。

2) 日本人学生と一緒に授業の履修

「日本語」「日本文化」いずれのコース希望も受け入れますが、専門的な「日本文化」については、日本人学生向けの科目で学ぶことになります。

(外国人留学生特別科目では、日本文化の基礎的な内容のみとなります。) 留学生受入機関である

国際教育センターにおいて、留学生としての指導を受けながら、1年間の留学期間中に、日本人学生と共に学べるようになるのが目標です。留学生と日本人学生の両方を対象にした科目も開講されています。

⑥ 研修期間

2018年10月1日 ~ 2019年9月30日

修了式は9月中旬頃を予定（2017年は9月5日）

⑦ 研修科目の概要

前期(10月~3月) 後期(4月~9月) それぞれ8科目相当の履修を義務づけています。

1) 必修科目

週に一度日研生を対象としたクラスがあり、基本的なアカデミック・スタディ・スキルを学び、修了レポートの作成を目指します。

2) 見学・交流などの参加型科目

留学生向けの企画として、留学生と日本人学生との交流会、歌舞伎鑑賞教室、茶道教室、生け花教室、着付け教室等が実施されます。

3) その他の講義、選択科目等

・外国人留学生特別科目

日本語 I A/B~VA/B：（各学期5科目）

1科目（2単位）当たり30時間

総合的な日本語力を養います。

日本事情 I A/B ~VA/B（各学期5科目）

1科目（2単位）当たり30時間

日本の歴史・社会・文化について学びます。

上記とは別に、特設日本語科目も開講されています。

・日本人学生対象の一般科目

前期（10月~3月）は、外国人留学生特別科目を中心に受講し、後期（4月~9月）は、各自の専門に応じて一般科目も受講することを基本とします。

⑧ 年間行事

10月： 授業開始

日研生オリエンテーション

留学生オリエンテーション

11月： 大学祭

12月： ~冬休み~

1月： 日研生修了レポート中間発表会
（全員参加）

2月： 授業終了（試験・レポート）
中間レポート提出
~春休み~

4月： 授業開始・留学生オリエンテーション

6月： 日研生修了レポート報告会
（全員参加）

7月： 日研生修了レポート提出
授業終了（試験・レポート）

8月： ~夏休み~

9月： 日研生修了式

⑨ 指導体制

大学院人間文化創成科学研究科所属で国際教育センター員の下記教員4名が指導教員として指導に当たります。日研生の受け入れ指導教員全員が大学院日本語教育コースを担当する教員でもあり文教育学部の専門科目も担当しています。

将来、日本語教育分野での活躍を目指す学生にとっては、当該分野の専門的な指導を、指導教員から受けることも可能です。

森山 新 教授

（日本語教育学）

西川 朋美 准教授

（第二言語習得、バイリンガリズム）

加納 なおみ 助教

（リテラシー教育、バイリンガル教育）

※本林 響子 助教

（言語政策論、社会言語学）

※印が責任教員、（ ）内は教員の専門分野

⑩ コースの修了要件

1) 毎週の日研生クラスへの出席

2) 前期・後期それぞれにおける科目履修

3) 修了レポートの提出

研修終了時に修了レポートを提出します。
そのために指導教員による個別指導も行われます。



インターナショナルデーの様子



授業の様子

■宿 舎

名 称：国際学生宿舎
所 在 地：東京都板橋区仲町
構 造：鉄筋コンクリート5階(個室)
給 食：なし
一ヶ月寮費：4,700円
修繕積立金：1,000円
その他光熱水料等：約8,000円
対 象 学 生：学部新生、学部在学学生、
外国人留学生で単身者



国際学生宿舎

■修了生へのフォローアップ

本学での日研生プログラム修了後、本学大学院(日本語教育、ジェンダー研究等)で学ぶために再来日する学生がほぼ毎年います。本学でさらに専門的な勉強をしようと、再来日を目指す修了生には帰国後も相談に乗るなど、積極的に支援しています。

■問合せ先

<担当部署>
お茶の水女子大学国際課留学生担当

住所： 〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1

TEL： +81-3-5978-5143 (直通)
FAX： +81-3-5978-5951
Email： ryunai@cc.ocha.ac.jp

<ウェブサイト>
お茶の水女子大学国際教育センター：
www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/
お茶の水女子大学：
www.ocha.ac.jp/